

すこやかMC通信

September 2026

03

- 02 もしもの時に備えて
当院の**災害対策**と、ご家庭でできること
- 05 当院医師の被災地活動の体験談
- 06 「急病救急センター」のご紹介
- 08 2025年度「患者満足度調査」のご報告

第2弾

今年も開催！

おづMCフェスタ

エンジョイ & ヘルシー

10 ページ



IZUMIOTSU MEDICAL CENTER

Emergency Response Team

災害対策チーム

もしもの時に備えて 当院の災害対策と、ご家庭でできること

災害に強い病院設備

当院では、災害時にも診療を継続できるよう、建物・電気・水の面で備えを整えております。



免震構造

地震による建物への揺れを軽減し、病院機能を守る構造。



自家発電機

病院の平日使用量に相当する電力を賄える能力があり、燃料備蓄により数日間の稼働が可能。



井水利用プラント

地下水を処理して使用できる設備を備え、災害時の水の確保に対応。

災害訓練

事業継続計画(BCP)を策定し、災害時に実際に対応できるよう、職員に教育と訓練を行っております。



災害備品：手袋、マスク、ガウン、筆記用具など



各部署の状況をすばやく集約・整理・分析し、共有するため、D-HIMS(災害時院内情報管理システム)を活用しております。病院全体の状況を一元的に把握できます。

実際の災害対応例

2025年4月に市内で発生した実際の火災時には、災害対策本部を設置し、消防などと連絡を取りながら情報収集を行いました。患者さんの受け入れでは、症状に応じて重症・中等症・軽症エリアに分けて対応いたしました。



中等症エリア

トリアージ

トリアージ＝緊急度に応じて診療の優先順位を決めること

9月1日は「防災の日」



地震や台風、豪雨などの災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。いざという時に自分やご家族の身を守るためには、日頃から災害への備えを見直しておくことが大切です。当院では、災害時にも地域の医療を守るため、建物や設備、院内の情報共有体制など、様々な対策を進めております。今回の特集では、当院の災害対策と、ご家庭でできる備え、災害時に知っておきたいポイントをご紹介します。

1 常備薬・お薬手帳の準備

災害時には、普段飲んでいる薬の名前や病気の情報が分からなくなることがあります。特に高血圧、糖尿病、心臓病、抗凝固薬などの情報は重要です。

備えておきたいもの

- 常備薬
- お薬手帳
- 持病や服薬内容のメモ
- かかりつけ医・薬局の情報

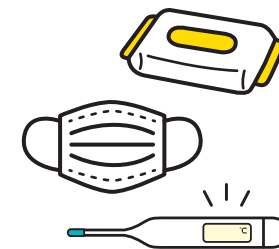


2 感染症対策用品の準備

避難所では人が密集し、栄養不足や衛生環境の悪化により、感染症が広がりやすくなります。

備えておきたいもの

- マスク
- 手指消毒用品
- ウェットティッシュ
- 体温計
- うがい・手洗い用品



ご家庭でできる災害時の備え

災害時には、けがだけでなく、避難生活による健康問題も起こります。どのような状況が起こるかをすることで、必要な備えが見えてきます。



3 水とトイレの備え

災害時には、水不足やトイレ不足が大きな問題になります。トイレが心配で水を飲む量を控えると、脱水や便秘、エコノミークラス症候群のリスクにもつながります。

備えておきたいもの

- 飲料水
- 簡易トイレ
- トイレ用ペーパー
- ウェットティッシュ
- 消臭袋・防臭袋



4 エコノミークラス症候群の予防

避難所生活や車中泊では、長時間同じ姿勢をとることで血栓が起きやすくなります。特に車中泊では注意が必要です。

予防のポイント

- こまめに水分をとる
- アルコールやコーヒーのとりすぎは避ける
- 足首を動かす
- ときどき立ち上がって歩く
- 長時間同じ姿勢を続けない

⚠ 病院からの注意点・お願い

災害時は、多くの患者さんが同時に来院する可能性があります。病院では、命に関わる症状のある方を優先して診療するため、症状に応じたトリアージを行います。

災害時

症状に応じた受診・搬送にご協力ください



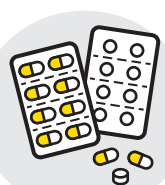
皆さんへのお願い

- ・病院では重症度に応じて診療順を判断いたします。
- ・来院順ではなく、緊急度の高い方を優先する場合があります。
- ・軽症の方は、待ち時間が長くなることがあります。
- ・スタッフの案内に従ってください。
- ・服薬情報を持参してください。

災害時には、薬の情報が治療の助けになります。受診時には、可能であればお薬手帳や現在服用している薬を持参してください。



💡 **お薬手帳**を日頃から持ち出せる場所に置いておきましょう。



💡 **普段飲んでいる薬**の名前が分かるようにしておきましょう。



💡 **持病のある方**は、病名や治療内容を家族とも共有しておきましょう。

避難後も健康管理を続けてください

災害時は、けがだけでなく、避難生活による体調不良が増えます。

⚠ 注意が必要なこと



早めの避難が命を守ります

津波の恐れがある場合は、ためらわず、すぐに高い場所へ避難してください。早めの避難は、ご自身の命を守るだけでなく、災害時の医療体制を守ることに繋がります。



災害はいつ起こるかわかりません。病院は、災害時にも地域の医療を守るために備えを進めております。一方で、ご家庭での備えや早めの避難も、命と健康を守る大切な行動です。日頃から、お薬手帳や常備薬、水、トイレ、感染対策用品を確認し、いざという時に落ち着いて行動できるよう準備しておきましょう。



当院医師の

被災地活動の体験談

山本啓雅医師は、大阪DMAT活動検討委員会委員、大阪府災害医療コーディネーター、日本DMATコーディネーター、日本DMAT統括DMAT隊員として、災害医療体制の整備や被災地支援に取り組んできました。

集中治療センター長 **山本 啓雅**
やまもと ひろまさ



DMAT＝災害時に活動する専門医療チーム

活動期間：2024年1月19日～1月25日

能登半島地震

能登半島地震では、DMATロジスティックチームとして、珠洲市保健医療福祉調整本部で活動いたしました。

現地の状況

- ・電気はあるが水がない
- ・飲料水・食料は持参
- ・本部は簡易トイレとトイレ車を使用
- ・宿舎にはトイレや暖房がない
- ・寝袋とマットが必要
- ・雑魚寝や車中泊もある環境

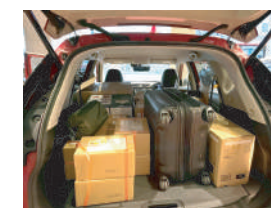
活動内容

- ・避難所で状態が悪化した患者さんの診療・搬送
- ・施設入居者の避難調整
- ・珠洲市総合病院の支援
- ・診療所再開に向けた活動
- ・診療所の訪問
- ・電源復旧に関する調整

被災地までの行程

大阪
↓ 電車(約4時間半)
金沢市
↓ レンタカー(約7時間半)
珠洲市

金沢のホテルでレンタカーに荷物を積み込み、県庁で荷物をピックアップ、本部用品や暖房も購入！



当時の勤務病院で後方支援

東日本大震災

東日本大震災では、DMATが岩手県、宮城県、福島県、茨城県で活動しました。活動内容は、病院支援、地域内搬送、広域医療搬送、病院入院患者の避難搬送などでした。また、避難所生活が長期化し、急性期医療だけでなく、避難所での健康問題が大きな課題となりました。

活動期間：2020年7月10日～7月14日

熊本豪雨災害

熊本豪雨災害では、DMAT以外にも多くの支援チームが活動しました。日赤救護班、DPAT、JMAT、DHEAT、JRAT、看護協会、保健師、自衛隊衛生班など、多職種が連携して支援にあたりました。

活動期間：2016年4月16日～4月19日

熊本地震

熊本地震では、避難所の過密、断水、トイレ不足、食料不足、車中泊、持病のある方への対応など、多くの課題がありました。

活動内容

- ・過密避難所への対応として避難者の移動
- ・断水地域への給水車依頼
- ・簡易トイレ設置の手配
- ・食料の依頼
- ・車中泊者へのエコノミークラス症候群対策
- ・救護班の投入、巡回診療
- ・福祉避難所の調整

— 厳しい災害現場の中でも、地域の方との温かい交流 —

活動中、通りすがりの市民の方から、ほかほかの甘酒饅頭をいただきました。



早めの避難と日頃の備えが大切です

急病救急センター

地域の「もしも」に、病院全体で応える 泉大津急性期メディカルセンター

突然の胸の痛み、息苦しさ、意識がもうろうとしている、片側の手足が動かしくい。そんな「いつもと違う」体調の変化は、ご本人だけでなく、ご家族にとっても大きな不安です。当院の急病救急センターは、地域の皆さんの急な病気や重症化に対し、24時間体制で初期診療を行う急性期医療の入口です。

2025年度救急搬送受入件数	6,597件（月平均約550件）
----------------	------------------

当院は、**二次救急告示病院**です。

二次救急とは？

二次救急は、入院や緊急処置が必要となる可能性が高い「中等症から重症」の患者さんに対応する救急医療です。強い胸痛、呼吸困難、意識障害、急な麻痺、重い腹痛、高熱を伴う血圧低下、重症肺炎、消化管出血など、早い段階で検査・治療・入院の判断が必要な病気に対応いたします。



こんな症状は **迷** わず**119**番を

- 強い胸痛、息苦しさ
- 意識がない、呼びかけへの反応が弱い
- 急に片側の手足が動かしくい、ろれつが回らない
- 吐血、下血、激しい腹痛
- 高熱があり、ぐったりしている

受け入れが難しい場合

産科、小児科、耳鼻咽喉科、口腔外科、精神科、眼科など当院に該当診療科がない場合や、重症外傷・重症熱傷など高度救命処置が必要な三次救急疾患では、より適切な医療機関への搬送をお願いすることがあります。



救急医が初期対応し、専門診療科へつなぎます

救急医療では、最初の数分から数十分がとても重要です。当センターでは救急医が初期診療を行い、病状に応じて循環器内科、脳神経外科、消化器内科、外科、整形外科など院内の専門診療科と連携いたします。入院が必要な患者さんは、それぞれの病態に合った診療科へ速やかに引き継ぎ、専門的な治療へつなげます。また、高齢の方に多い肺炎や尿路感染症など、ひとつの診療科だけでは判断しにくい病気についても、総合診療センターや内科系診療科と連携しながら診療いたします。重症の患者さんには、集中治療専門医が在籍するICU・HCUで、人工呼吸管理、循環管理、緊急透析などの集中治療を行います。



命に関わる病気にも、迅速に対応

心筋梗塞、心不全、脳卒中、敗血症などは、診断や治療開始までの時間が予後に大きく関わります。当センターでは、必要に応じて緊急手術、血管内治療、緊急内視鏡治療などへ速やかにつなげる体制を整えております。さらに、大阪公立大学救命救急センターと連携し、当院で対応可能な急性期医療を提供するとともに、より高度な救命処置が必要な場合には、適切な医療機関へつなぎます。



救急医療は、病院全体で支える医療です

救急室での初期対応は救急医が担いますが、救急医療は救急医だけで完結するものではありません。医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、診療放射線技師、臨床検査技師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカーなど、多職種が連携し、患者さんが必要な医療をできるだけ早く受けられるよう支えております。

一方で、急性期病院の役割は「命に関わる状態を乗り越えるための医療」を提供することです。病状が安定した後は、リハビリテーションを担う病院や慢性期病院、かかりつけ医など、地域の医療機関と連携しながら、その方に合った療養の場へつなぐ場合があります。これは、次に救急医療を必要とする患者さんを受け入れるためにも大切な地域全体の役割分担です。

救急室の 医師スタッフ	生長会 泉州地区救急集中治療センター	センター長	溝端 康光
	急病救急センター	センター長 医長 副医長	西山 明秀 稲垣 雄士 柳原 喜美子



地域の皆さんへ

急な体調不良の際、「この症状で救急車を呼んでよいのだろうか」と迷うことがあるかもしれません。判断に迷った際は、救急安心センター事業（＃7119）へご相談ください。命に関わるおそれがみられる場合は、ためらわずに119番へ通報してください。

当院の急病救急センターは、地域の皆さんが必要なときに適切な急性期医療につなげることができるよう、これからも安全で迅速な救急医療の提供に努めてまいります。

※救急診療は24時間行っております。救急車を利用せず、ご自身で受診を希望される場合は、事前にお電話でお問い合わせください。

※救急患者さんの病状、院内の緊急対応状況、病床の状況などにより、受け入れが困難となる場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。



急病救急センター
センター長 西山 明秀
にしま あきひで

日本救急医学会 救急科専門医
日本内科学会 総合内科専門医・認定医
日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア認定医・指導医
日本病院総合診療医学会 認定医・認定病院総合診療医

2025年度 患者満足度調査ご報告



皆さんからいただいたご意見を院内で共有し、より安心して受診・入院していただける病院づくりに生かしてまいります。今後とも、皆さんの率直なご意見をお聞かせください。

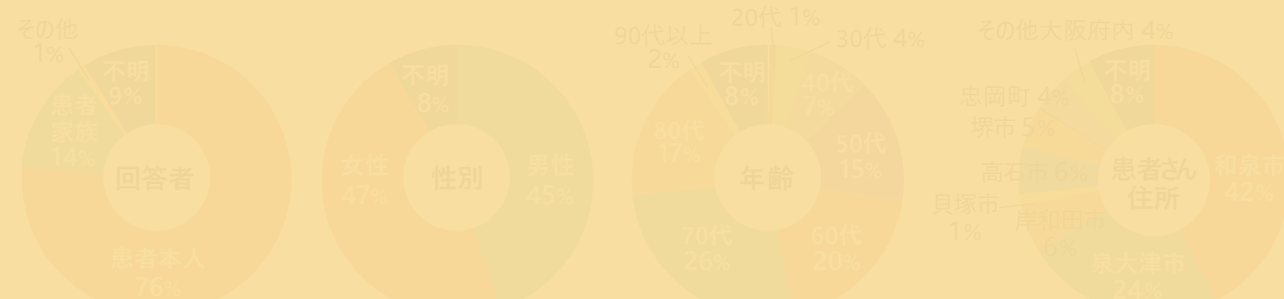


当院では、患者さんからの貴重なご意見を今後の病院運営に生かすため、「患者満足度調査」を実施しております。今回は、2025 年 11 月に実施した調査結果をご報告いたします。調査にご協力いただきました皆さんに、心よりお礼申し上げます。

外来患者さんの調査結果

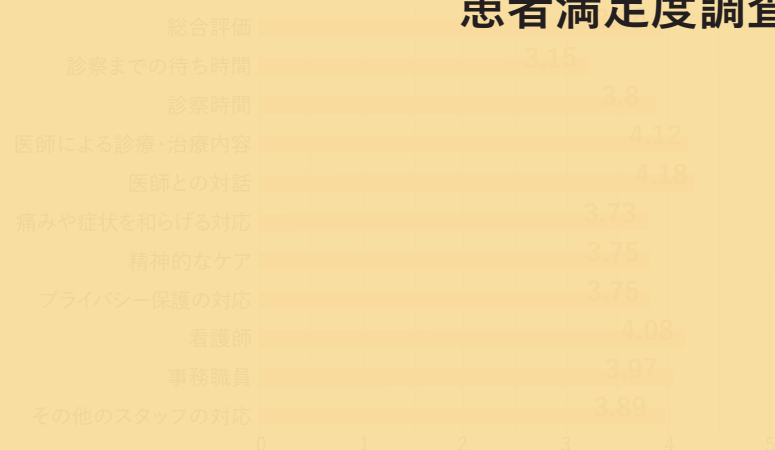
○ 調査期間：2025 年 11 月 17 日～11 月 19 日
○ 回答数：465 件／500 件 ○ 回答率：93.0%
※外来と入院では、調査期間およびアンケートの配布方法が異なります。

① ご回答いただいた皆さんについて



「すこやか MC 通信 vol.03」は院内に設置しておりますので、ご来院の際にご覧ください。

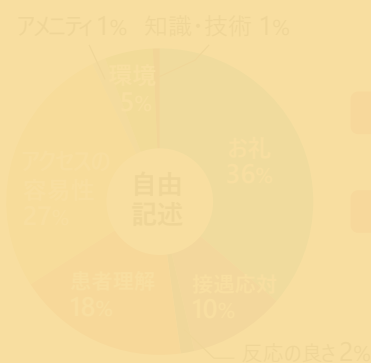
② 病院の評価（5点満点）



医師の診療内容や対話、看護師・事務職員の対応については、概ね良好な評価をいただきました。一方で、診察までの待ち時間については改善を求めるご意見が多く、今後も待ち時間の短縮や案内方法の工夫に取り組んでまいります。



③ 自由記述



自由記述の主な内容／

改善を求めている意見

- 待合室の椅子を増やしてほしい。
- 待ち時間をできるだけ短縮してほしい。 など

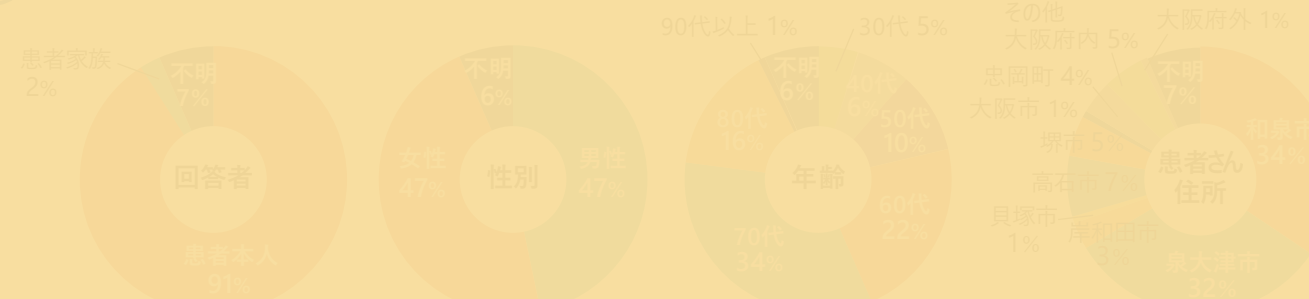
褒められている意見

- スタッフがたくさんいて、わからないことはいつでも聞けるのが良い。
- 新しい病院ですので、満足しています。
- 先生の対話が丁寧で、話しやすい。全体に受付も看護師さんも丁寧で良い。 など

入院患者さんの調査結果

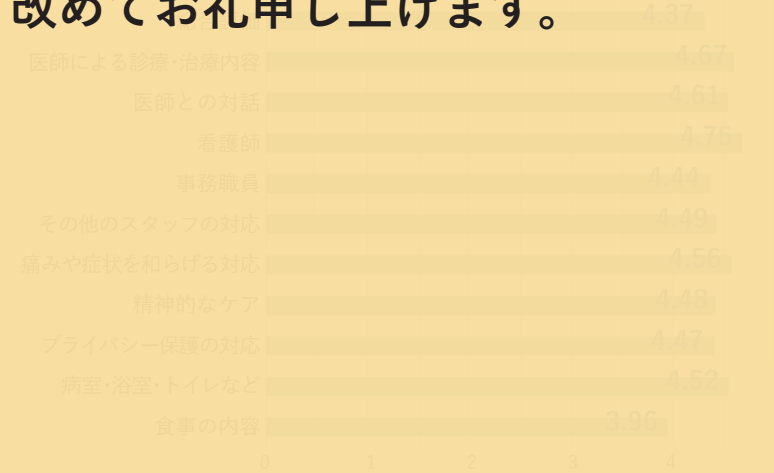
○ 調査期間：2025 年 11 月 1 日～11 月 30 日
○ 回答数：122 件／770 件 ○ 回答率：15.8%
※外来と入院では、調査期間およびアンケートの配布方法が異なります。

① ご回答いただいた皆さんについて



患者満足度調査にご協力いただきました皆さんに、改めてお礼申し上げます。

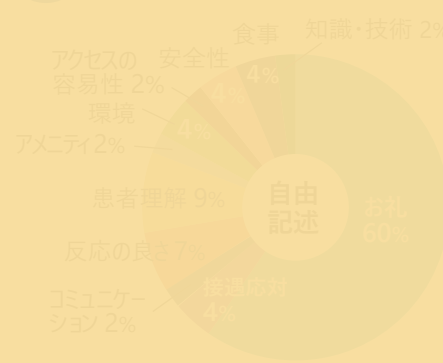
② 病院の評価（5点満点）



医師・看護師の対応や治療内容、療養環境について高い評価をいただきました。一方で、食事の内容については改善の余地があると受け止め、より快適な入院生活につながるよう努めてまいります。



③ 自由記述



自由記述の主な内容／

改善を求めている意見

- コミュニケーションや予後・ケアに関する説明が不足している。
- 手術後は面会時間を現在より少し延ばしてほしい。
- スタッフ間の確認や連携を強化してほしい。 など

褒められている意見

- 皆さん優しく対応されて素晴らしいと思いました。
- 先生が家族の気持ちをくみとって丁寧に説明してくださり、安心してできました。 など

今年も開催!

泉大津急性期メディカルセンター

おづMC フェスタ

第2弾

エンジョイ & ヘルシー

2026年

11月1日(日)開催

10:00 ~ 15:00

入場
無料

申込
不要

詳細は、ホームページなどで
順次お知らせいたします



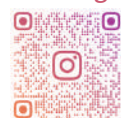
ご参加いただいた方に
プレゼントをご用意!



最新情報は
こちら!

イベントの詳細や
最新情報は
SNS でチェック!

公式 Instagram



参加特典
クーポン発行!

LINE「友だち登録」で
限定プレゼント♪

公式 LINE



泉大津急性期メディカルセンター
おづMCフェスタ
イベント開催中

めったにできない体験がめじろ押し!



あなたも外科医!手術室ナース!

お菓子を使って楽しく体験



薬剤師ってこんなお仕事!

センサーや障害物の仕掛けをかわしスパイの



スパイ大作戦!センサーをかいくぐれ

病院の
おしごと体験

ように通り抜けられるか挑戦!

顕微鏡で

血液細胞をのぞいてみよう!



ミクロの世界2025



ドクターと一緒に内視鏡を体験しよう!



蛍光剤で手の洗い残しチェック

消防士に変身!

救急車
消防車見学



相談・測定
コーナー



健康プチ体験ステーション
～血圧・血糖測って寝てみる!～

おづみんと笑顔いっぱい!



今年もおづみんといっしょに
お待ちしております!



キッチンカー



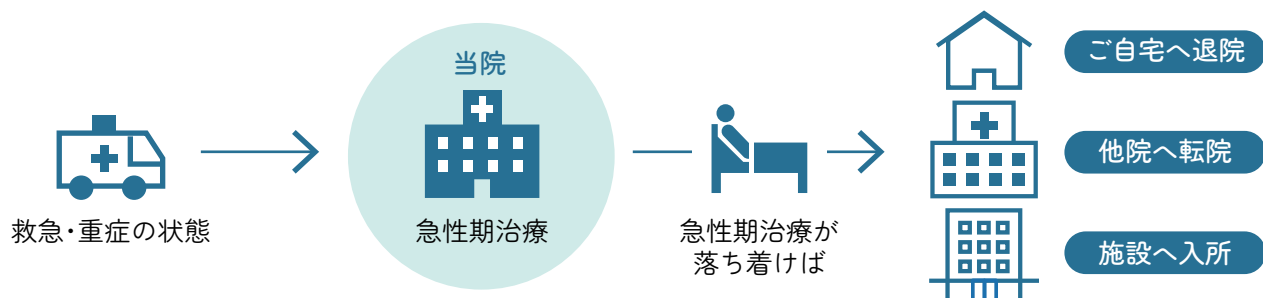
急性期病院としてのお願い

地域の重症患者さんをより多く受け入れるため「入院ベッドのゆずりあい」をお願いしております。

当院は救急病院です。救急・重症患者さんを常に受け入れているためにベッドが不足することがあります。

治療が落ち着きましたら、早期の退院、他院への転院、施設への入所をお願いしております。

北泉州地域の救急用ベッドを、次に必要な救急・重症患者さんに提供するために、ご理解とご協力をお願いいたします。



AIF 総合相談センター／がん相談支援センター／脳卒中相談センター

AIF 総合相談センター／がん相談支援センター／脳卒中相談センターでは、患者さんとそのご家族、地域のみなさんが安心して治療に専念できるよう、また療養生活における不安や心配ごとについて、各専門分野のスタッフと一緒に考える窓口です。どのようなこともお気軽にご相談ください。

- 相談内容やプライバシーに関する秘密は厳守いたします。
- ご予約は不要です。すぐにご相談に応じることができない場合（相談者が多い場合）がありますので、あらかじめご了承ください。

相談時間	月～土曜日（祝日除く）9:00～17:00
場 所	1階 総合受付横 AIF 総合相談センター

病院の基本方針

Excellent Hospital
一地域のリーディングホスピタルとなるー

私たちの理念

使命 愛の医療と福祉の実現

会 是 地域と職員と共に栄えるチーム
Yu・ki・to・do・ku ゆき届いたサービス

診察時間のご案内

[受付時間]

午前受付 8:15～11:45
午後受付 各診療科により異なります

[診療時間]

午前診療 9:00～
午後診療 各診療科により異なります

[休 診 日]

日曜日・祝日・年末年始

※救急診療は行っておりますので
お問い合わせください



泉大津急性期メディカルセンター

〒595-0031 大阪府泉大津市我孫子 97-1

Tel.0570-02-1199 <https://www.seichokai.or.jp/ozumc/>

広報誌「すこやか MC 通信」Vol.03 / 2026年9月発行 編集・発行 / 企画室

